

～みんなで人権について考えよう～

12月1日、平成25年度「人権標語・イラスト」優秀作品表彰式と「人権を考える町民講座」が、横田コミュニティセンターで行われました。

「人権標語・イラスト」優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会が毎年募集している人権標語と人権イラストに、今年は標語974点、イラスト67点の応募がありました。



▲草水さん



▲實近さん

各部門の最優秀作品は次のとおりです。

【標語の部】

草水 涼太さん (三沢小一年)
**「やさしい きもちは つたわるよ
 やさしい きもちは つながるよ」**

【イラストの部】

實近 雅さん
 (鳥根デザイン専門学校2年)



金子みすゞ記念館館長の矢崎節夫さんが講演

「みんなちがって、みんないい。」

～金子みすゞさんのうれしいまなざし～

表彰式の後、金子みすゞ記念館館長の矢崎節夫さんによる講演会が行われました。

矢崎さんは、自身の童謡・童話の創作活動の傍ら、学生時代に出会った金子みすゞの詩に衝撃を受け、16年かけて埋もれていた遺稿を発見。

『金子みすゞ全集』として世に出し、以後その作品集の編集・出版に携わっていらっしゃいます。

矢崎さんは「喜びと悲しみ、生と死など物事は二つで一つ。人は周りに人間がいるから自分が人間だと理解できる。「わたしとあなた」から「あなたとわたし」へ。人権とは、お互いが寄り添い、依存しあっていくこと」と話され、約百人の来場者は矢崎さんの言葉に深くうなずいていました。



▲語りかける矢崎さん

傾には来のるとしくり
 たけ耳熱場姿児頑よ発やわ
 まを心に童張う表すか



▶シンポジウムの様子

ふるさとをテーマに
 町内小学校が学習発表

平成二十五年奥出雲町ふるさと教育フェスティバルが十二月八日、横田コミュニティセンターで開催されました。「ふるさとを学びすてきなふるさとを伝えよう」をテーマに、三成、布勢、阿井、馬木小学校の代表と三沢小学校全校児童が参加し、ふるさとに関係する学習成果をそれぞれステージで発表しました。また、「キャンプから学ぶこと」と題したシンポジウムでは、連合吾妻山キャンプに参加した児童の代表六人が、キャンプでの経験や感じたことを語りました。

*** 受賞おめでとうございます ***

平成25年度 島根県功労者表彰

自然保護 横田山の会(横田)



「横田山の会」は、昭和38年に設立以来、50年にわたり船通山山頂に自生するカタクリ群落の保護や登山道の維持・修繕、自然観察会の実施等、様々な自然保護活動を行われました。また、吾妻山で小学生を対象とした教育キャンプを実施し、野外体験を通じた青少年の健全育成に大きく貢献されています。

(写真：岩佐捷治会長代行)

商工 植田良二さん(三成)



植田さんは、平成4年に仁多町商工会の理事に就任以来、商工業の振興と商工会の発展に努められ、平成19年から奥出雲町商工会副会長に、平成24年からは同会長および島根県商工会連合会の理事に就任。地域商工業者の先頭に立ってリーダーシップを発揮し、円滑な商工会運営と地域商工業の振興発展に尽力されています。

文化財 杉原清一さん(小馬木)



杉原さんは、昭和40年より文化財保護活動を始められ、特に製鉄遺跡調査では島根県の第一人者としてその基礎を築かれ、島根県の文化財保護に大きく貢献されました。また、県文化財保護指導員を30年間、町文化財保護専門委員を通算40年5ヶ月の永きにわたり務められ、文化財保護行政の推進に尽力されました。

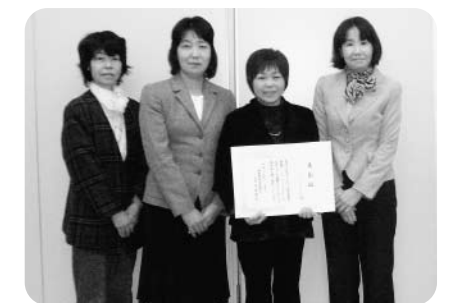
(杉原さんは表彰式の直前に亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。なお、写真は平成23年度教育功労者表彰受賞時のものを掲載しています。)

島根県読書推進運動功労者表彰

読み語りボランティアグループ がじゅまる (布勢)

島根県図書館協会が読書推進運動に尽力された個人・団体を表彰する、島根県読書推進運動功労者表彰の表彰式が12月4日、松江合同庁舎で行われ、布勢地区の読み語りボランティアグループ「がじゅまる」(内田美幸代表)が受賞されました。

現在は10名の会員で幼稚園、小学校への読み語り活動を続けられています。他の団体と連携したり、新しい人材を取り込むなど、地域とのつながりを深めながら継続した読書活動をされてきたことが評価されました。



▲がじゅまるの皆さん(左3人左から安部晴美さん、内田代表、石原晴代さん)と大矢敬子島根県立図書館長(右)